

2022年8月1日
九州電力株式会社

デジタル技術を駆使した先進技術で自家用ケーブルの遠隔診断サービスを開始します — お客さまの安定的な事業活動を支援する「PDL00K システム」を全国展開 —

当社は、2022年8月1日から全国の特別高圧・高圧受電の事業者さまが保有する3kV以上の特別高圧・高圧の自家用構内ケーブルを対象に、部分放電^(注1)オンライン遠隔診断サービス「PDL00K（パドルック）」の提供を開始します。

近年、自家用構内ケーブルの高経年化が進んでおり、経年劣化に伴う停電事故の未然防止や計画的な設備更新作業等、設備保全の重要性が高まっています。一方、自家用構内ケーブルに対する劣化診断方法は、設備停電が必要で多大な作業を要するもの、特別高圧ケーブルには適用できないもの、診断の精度に問題があるものなど、多くの課題がありました。

こうした課題に対し、当社は、設備停電の必要がなく特別高圧ケーブルにも対応する汎用性の高い部分放電法にIoT・AI技術を組み合わせ、お客さまの事業活動を止めない無停電でのオンライン遠隔劣化診断方法を確立しました。

当社は、国が推奨するスマート保安^(注2)にも合致するPDL00Kを通じて、お客さまの安定的な事業活動を支援します。

(注1) 絶縁材料内部の欠損や微小な空洞、異物などに電界が集中して起こる局所的な放電現象

(注2) IoT・AI等の新技術の活用により、産業保安の安全性・効率性を追求していく主体的で挑戦的な取組み（国のスマート保安官民協議会 基本方針より）

PDL00K

見守り続ける“パドルック”

部分放電オンライン遠隔診断サービス（PDL00K）の特長

- ◇ 事業活動を止めない「無停電診断」
- ◇ 経年劣化情報を統計的に管理できる「トレンド監視」
- ◇ 当社独自の「診断技術（IoT・AI）」（特許出願中）

本サービスは、九電グループの未来の事業を創出するプロジェクト「KYUDEN i-PROJECT」の一環として取り組むものです。当社は今後もイノベーションの取組みを通じて地域・社会の課題解決に貢献し、より豊かでより快適な生活をお届けしていきます。

以上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。